

# めいけいの オープンキャンパス



名鉄小牧線「田原神社前」駅から  
無料スクールバスが利用できます!

オリジナルグッズを  
プレゼント!

事前予約  
webで  
受付中!



◆10:30~14:30(10:00 受付開始)  
◆キャンパスツアー/総合相談コーナー など

9/11日 11/13日 10/8土・9日  
入試相談会 大学祭同時開催



地球規模で考えながら、地域で活動する

**Think globally, act locally**  
**Inuyama** 「犬山」から発信しつづける...

名経キャンパスで多文化交流! **ジャパンタフル MEIKEI**  
**HELP UNIVERSITY**の学生を迎えて



マレーシアの大学生に  
日本の伝統文化「武道」を紹介  
剣道の演舞と体験で盛り上がりました。

## 留学



**英語力をスキルアップ!**

大学入学以来、独学で英語の勉強をしていま  
したが、今回思い切って留学してみても良い経験  
をすることができました。 法学部4年 ●玉城涼さん

フィリピンセブ島に3か月間の「英語語学留学」

JICAボランティア(青年海外協力隊)メンバーとの交流  
**ヨルダンでの情操教育に奮闘!**  
**行動力あふれる姿に感動**

JAICAボランティアのメンバーとして「ヨル  
ダンで情操教育の普及」に携わった佐野恵さん  
の講演が「保育者論」の授業で行われました。  
学生たちは、自らの夢を実現し、この経験を活  
かして再び犬山市の保育士として活躍してい  
る姿に刺激を受けました。



いいね! いぬやま総合戦略 犬山市学生議会  
自分たちの暮らす地域に興味を持とう



本物の議場で犬山市長、市の幹部職員へ  
質問を通して「市が抱える課題」を共有する。



**議長・学生議員の両方  
を経験して得たもの**

議長では問の取り方や臨機応変な対応を心がけ、  
学生議員では、「私が犬山市民の声を伝えるんだ」  
という意識を持って質問をしました。この経験を糧  
に、さらに勉学を進め、将来は社会人としても活躍  
できるような人間になりたいと思います。  
法学部4年 ●倉内佳祐さん

犬山市の環境を考える  
**いぬやま環境フェア2016**  
6月25日、オープニングイベントに参加



会場の受付や来場者の案内などを通じ、市内  
の企業・団体の環境に対する取り組みにふれる  
ことができました。また、これからの環境に関す  
るイベントなどへの提案も行いました。

市内の企業・団体の環境への取り組みにふれる

# 名経大とつくる 地域のげんま!

名古屋経済大学地域連携センター NEWS VOL.01 [2016 AUGUST]



選挙権年齢が「18歳以上」へ  
**若い世代も「意思表示」を!**  
参議院議員通常選挙期日前投票実務体験

[特集]

4年目の飛躍

名古屋経済大の周りは未知の学び体験ゾーン。

## 体験型7.0プロジェクト

名経米を作ろう! 「田植え」

企業と共に考える! 若者とクルマの今  
「トヨタ元町工場」を見学





名古屋経済大の周りは未知の学び体験ゾーン。

# 体験型プロジェクト

## 名経米を作ろう! 「田植え」

6月7日火曜日 3・4時限。いよいよ、田植え本番!



田植え、その前に...  
農協の育苗センターで苗作りを体験



長靴にレインコート、苗の準備も万全。



地元農家の倉地さんから説明を聞く



苗はパレットからはずされ、  
小分けにします。



雨にも負けず、もくもくと作業は続けられます。



初めての「田植え」1列目、終了

### 学ぶことの楽しさを実感!

本学では「地域社会との関わりから自分を成長させる」ことを目的に、見て・ふれて・聞いて学ぶ「体験型プロジェクト」に取り組んでいます。「名経米を作ろう!」では、米作りの体験を通して、「農業」や「食料生産」とは何か、地域と学生・大学との連携のあり方や課題についての理解を深めることを目標に農業に関わる施設見学や、農業に携わる方々へのヒアリングなども行い、授業を進めています。

6月7日(火)、地域の農家の方や農協のご指導のもと、大学近くの水田で「田植え」を行いました。小雨まじりのあいにくの天気でしたが、留学生を含む13名の学生たちは、休憩をとることもなく、土と格闘しながら、黙々と作業をこなしました。最後の一行を植え終えると行儀よく並んだ稲に目をやり、ガッツポーズで「田植え」の終了を喜びあいました。

学生13名と指導教員3名。  
倉地さんと、鈴木市議会議員のサポートを受け  
無事、田植えが終了。全員でガッツポーズ!



田んぼの端まで  
苗を飛ばす!



行儀よく並んで  
田植え作業は  
進みます。





名古屋経済大の周りは未知の学び体験ゾーン。  
**体験型プロジェクト**

企業と共に考える！若者とクルマと今  
**トヨタ自動車「元町工場」見学へGo!**



ボディの内部構造を確認

**世界トップレベルのモノづくり**

6月14日(火)、自動車工場の見学に行き、普段何気なく使用しているクルマの実態を学びました。見学した工場は、愛知県「クルマ」といえば真っ先に出てくる世界的な有名企業、トヨタ自動車の「元町工場」。トヨタ自動車のスタッフの方の案内のもと、愛知が誇るクルマについて学ぶことができました。工場内では、普段は見ることのできないクルマの製造ラインや最新の機器を見学することもでき、学生たちは大興奮でした！

ピンク「CROWN」と、「MIRAI」にかこまれて！記念撮影



人気のミニバン「SIENTA」を発見！



スタッフの丁寧な説明と、Wingletに感動！

スタッフの足元に注目！  
『Winglet(ウィングレット)』  
トヨタのパーソナルモビリティ  
遊び心いっぱいの走りか  
楽しめます。

最新テクノロジーと、  
世界最先端の技術力を  
間近で体感！

犬山市選挙管理委員会の協力・支援で  
**社会参加のきっかけづくり**

選挙権年齢が「18歳以上」へ  
若い世代も「意思表示」を！



ひと言、ひと言  
丁寧にご説明いただき  
安心できました。



“笑顔での対応”を心がけ案内をする！

**参議院議員通常選挙期日前投票実務体験**

6月27日(月)～29日(水)と7月1日(金)～3日(日)、犬山市選挙管理委員会のご協力により、7月10日参議院議員通常選挙期日前投票実務体験に23名の学生が参加しました。事前に選挙管理委員会事務局の職員から選挙や投票所の仕組み・担当の業務内容などの説明を受けた後、案内係・投票用紙交付係を役割分担し、実務体験することができました。汗だくでみえる方、車いすでみえる方、点字投票される方など、投票に訪れたさまざまな方と直接接することで、「一票」の重さや大切さ、投票の意義を知ることができました。初めて投票所に入る学生がほとんどでしたが、親切にご対応・ご支援いただきました選挙管理委員会・投票所のスタッフの皆様、本当にありがとうございました。

**一票の重みを肌で感じた**

初めて目にした音楽が流れる投票会場やスタッフの皆さんの気づかいに、初めての体験にもリラックスして臨むことができました。体験前日までは、「本当に人が来るのかな？」と半信半疑でしたが、視覚に障がいのある方が「点字投票」をされている姿に有権者としての意識の高さと一票の重みを肌で感じ、「私も投票の義務を果たさなければ」と強く思いました。

法学部2年 ●石川泰士郎さん



**選挙への感心が高まった**

言葉づかいに気をつけること、笑顔で対応することに最初は緊張しましたが、スタッフの皆さんにフォローしていただき、無事に実務体験を終えることができました。公務員を目指しているので選挙事務の現場を間近で見ることができ、参考になりました。このような貴重な機会を紹介してくださったゼミの先生に感謝しています。今回の実務体験を通して、選挙への感心がいっそう高まりました。法学部2年 ●勝部竜実さん



選挙管理委員の方から「学生」へメッセージ

**「社会参加のきっかけに！」**

今回(7月10日投票日)の参議院選挙では、名古屋経済大学の23名の学生の皆さんに、期日前投票所での投票事務にボランティアとしてご協力いただきました。皆さんの存在は、投票所に新鮮な風を吹き込むとともに、「18歳選挙権」を強力にアピールできたと感じています。ありがとうございました。「選挙で投票をする・投票事務を行う」ということは、アルバイトな

どとはまた別の意味で、皆さんの社会参加の第一歩であり、社会に対して皆さん自身が意思表示をする貴重な第一歩であると思います。今回の投票をきっかけに、学生の皆さんがいろいろな分野・場面での社会参加につなげていただけることを期待しています。犬山市選挙管理委員会書記長 江口俊也氏

身近な食を知る  
**JA流通センター 実習体験へ!**

**社会を見つめ、視野を広げる体験**

普段何気なく食卓に並び、何気なく食べている食事。その「食」に焦点を当て、こうした食材はどこで作られ、どのようにして店頭並び、消費者のもとに届くのかを知るため、今回は地元の扶桑町にある「JA流通センター」へ実習体験に行ってきました。

実習では、それぞれの売り場を巡りながら、地元産品の仕組みについて説明を受けました。「地元の特産品は何か」「農協に運ばれた食材がどのような経路で店頭へ届くか」など、学生たちは知っているようで知らない情報に熱心に耳を傾け、メモを取りながら話を聞いていました。

今回の実習で、社会を見つめ、視野を広げる良い経験ができたと思います。





犬山市との相互交流

まちかどボランティアセンターと

## 生きた学び体験×コラボレーション

新、卒業生も参加

### 犬山市の保育士さんたちと

「実習基礎」で交流授業

短期大学部保育科1年の実習授業「実習基礎」に犬山市の保育士の方々をお迎えして、学生が実習やボランティアに参加している様子などを紹介していただきました。また、保育士になったばかりの卒業生は、「みんなの保育アイデア」に掲載された、手袋で作る『ぶたとオオカミ』の遊びを、元気一杯に見せてくれました。さらに、先生方には急ぎよ「保育ボランティア」のイベントメントをとるために電話をかけるというロールプレイにも参加いただきました。



駆け出しの1年生が保育の現場へと一歩を踏み出す後押しとなりました。

新卒の“先輩”も大活躍!



### 先輩の姿に勇気もらった

犬山市の保育士さんから保育の現場の様子をお聞きし、子どもたちの前で使える遊びをたくさん紹介していただきました。大学生の私たちも楽しめるものでした。昨年卒業された先輩は、手作りのバベットを用いて、とてもハキハキと私たち全体の顔を見ながら手遊びを披露してくれました。私も1年半後、先輩のような保育士になれるかどうか不安ですが、人と接していく仕事ですので、前向きに明るく頑張りたいと思いました。短期大学部 保育科1年 ●池田智音さん



ボランティア活動

## 犬山城下町 キッズ愛ランド

「学びの場」としての継続的な取り組み

7月3日(日)、犬山市どんでん館前広場にて「キッズ愛ランド」を開催しました。まちかどボランティアセンターから声をかけていただき、5月に続いての参加です。まちかどボランティアセンターや城下町の皆さんに学生の活動を温かく見守っていただき、遊びに来た子どもたちと楽しい時間を過ごすことができました。今後も城下町での遊び場が「学びの場」として継続した取り組みになるよう、温かいご声援をお願いいたします。

### キッズ愛ランドを終えて

小さな子どもたちも保護者と一緒にでき、どの年代でも楽しめる「磁石を使った魚釣りゲーム」を企画したため、いろいろな年齢の子どもたちが遊んでくれました。今回のボランティアを通して、学校では学びにくい幅広い年齢の子どもたちとも関わることができました。この経験を生かし、これからの学びに繋げていきたいと思えます。短期大学部 保育科1年 ●石花彩華さん

### 交流の中で犬山の素晴らしさを発見

さまざまな人と交流することができましたが、特にミニSLに乗る子どもたちを見つめる両親の姿が印象的でした。また、犬山城が日本最古の木造の城であり、海外からの観光客も大勢訪れることを知り、犬山の素晴らしさをより深く理解することができました。

人間生活科学部 教育保育学科2年 ●手塚啓介さん



今回は  
9/18(日)  
開催!



### 子どもたちの笑顔にふれて

今回の参加で、「キッズ愛ランド」は3回目でした。自分たちが製作したもので楽しんでいる子どもたちの姿やお父さんやお母さんも一緒になって楽しんでいる姿をたくさん見ることができ、参加して本当に良かったと思います。また、城下町の方々もとても温かく対応してくださり、安心してボランティアに参加することができました。

短期大学部 保育科2年 ●長谷部あかりさん

犬山市教育委員会

## 実践的な学び体験

犬山の学校給食を考えよう

### 栄養教諭・学校栄養職員へプレゼンテーション

「ドイツ料理」と「カルシウム豊富な献立」

管理栄養学科は、「犬山の学校給食を考えよう」をテーマに、学校給食づくりに取り組みました。献立にテーマを持たせ、栄養価を考慮した献立をプレゼンテーションしたところ、2作品が選ばれ、2月に市内小中学校14校で献立が提供され、学校給食の実際にふれる体験型学習となりました。

今年度も、栄養教諭を目指す2年生が、市内の栄養教諭・学校栄養職員の先生方に献立プレゼンテーションを実施。先生からの鋭い質問に回答する場面もあり、栄養教諭としての汎用的能力を鍛える貴重な機会になりました。



### 子どもたちからの手紙に感動

学校給食の献立を考えるのは初めてで、とても難しかったです。自分が考えた献立が提供されると決まった時は驚きました。その後、小学校にお邪魔して一緒に給食を食べる機会も用意していただき、後日子どもたちから手紙をもらった時は、それまでの大変な思いも吹き飛びました。貴重な体験をさせていただき、とても感謝しています。人間生活科学部 管理栄養学科3年 ●伊藤のぞみさん

産官学連携&地域連携

## 経済学部学生研究室

こまき産業フェスタ2016

### 楽田小学校安全安心マップ デモンストレーション

来場者へ本学の「主体的な学び」をPR

5月28日(土)・29日(日)、パークアリーナ小牧で開催された「こまき産業フェスタ2016」に、経済学部学生研究部の学生たちが参加しました。「楽田小学校安全安心マップ」をはじめ最近の成果を展示解説したところ、大勢の方々足を止め、学生たちの説明に熱心に耳を傾けてくださいました。本学の地域に根差した活動を知っていただく良い機会であるとともに、学生にとっても実社会と直接かかわる貴重な経験となりました。

### チームとして1年間の成長を実感

昨年は先輩たちに任せきりでしたが、今年は自分たちで活動内容を来場者の皆さんに説明することができました。チームもこの1年間で成長できたと思います。このような取り組みを私たちが後輩へ継承していきたいと思えます。

経済学部2年 ●平島徹也さん



### 小学生との交流で学ぶことも

周辺地域にある小学校の通学路安全マップを作成する事業に参加しました。市役所や商工会議所などと連携して活動することで、礼儀を学び、物事の視野を広げるなど、多くの経験を得ることができました。また、小学生と一緒に危険箇所を歩いたまち歩きでは、知らない人にも積極的に話しかけていく小学生の姿からも学ぶことができました。

経済学部2年 ●神谷有輝さん

